

Hyper-V 上の Nexus 1000V のトラブルシューティング ガイド

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[インストーラ アプリケーション問題](#)

[インストーラ アプリケーションを慎重に使用して下さい](#)

[インストーラ アプリケーションログ Location](#)

[インストーラ アプリケーションは Mgmt NIC を移行します](#)

[Mgmt および VSM のための論理的なスイッチはすべてのスイッチで作成されません](#)

[インストーラ アプリケーションはクラスタ ベースのストレージを利用しません](#)

[インストーラ アプリケーションが作成する VSM 設定においての問題](#)

[SCVMM は VSM に接続できません](#)

[プロバイダがインストールされていることを確認して下さい](#)

[コントロール パネルが付いているプロバイダをアンインストールして下さい/再インストールして下さい](#)

[拡張 準拠性をチェックして下さい](#)

[VSM と SCVMM 間の接続を確認して下さい](#)

[仮想 な イーサネットモジュール \(VEM \) 問題](#)

[超V ホストは N1KV にインストールしません](#)

[VEM モジュールは VSM で現われません](#)

[すべての VETH ポートはホスト再度ブートするの後にあります](#)

[対応スイッチ エラーを検出することが不可能](#)

[他の問題および役に立つコマンド](#)

[VSM は超V で入り込むことができません](#)

[仮想マシン キューイング \(VMQ \)](#)

[Vemcmd の使用は VMQ リソースを表示するために](#)

[PowerShell 有用なコマンド](#)

[Vemcmd および Vemlog 場所](#)

[レジストリによって物理的 な アダプタ コンポーネントを確認して下さい](#)

[一時テンプレートによる N1KV オブジェクトを削除できません](#)

[N1KV レシーブ論理的なスイッチ 準拠性 エラーに割り当てられる VM](#)

概要

この資料は Microsoft (MS) 超V サーバの Cisco Nexus 1000V (N1KV) シリーズ スイッチを解

決するために使用される手順を記述したものです。超Vの実装はESXiでと、そういくつかが頻繁出会われた問題ある大いに異なっています;従って、この資料は作成されました。

この資料に説明があるエンジニアリング New Product Introduction (NPI) とベータテストの間に見つけられる問題から情報の多くは直接来ます。この資料はその性質にダイナミックで、それに応じてアップデートされます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- N1KV シリーズ スイッチ
- MS 超V サーバ

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

インストーラ アプリケーション問題

インストーラ applicaton においての多くの問題があり、このセクションはもっとも一般的なを物記述します。

インストーラ アプリケーションを慎重に使用して下さい

このアプリケーションをなぜ慎重に使用する必要があるかいくつかの理由はここにあります:

- それは仮想 な 監視プログラムモジュール (VSM) を多くのプラットフォームで開始するために随分長く待たないし頻繁に失敗します。
- それは MS 論理的なスイッチに移動される mgmt インターフェイスがほしいと思わないかもしれませんが、管理 (mgmt) インターフェイスを移動し、知らせません。
- 論理的なスイッチは作成される団結されたインターフェイスを使用できません。これはスイッチまたは mgmt インターフェイスのための冗長性がないことを意味します。
- 論理的なスイッチに団結されるそれを作るために別の Network Interface Cards (NIC) を単に追加できません; 団結されたインターフェイスですべて新しい冗長性があるためにスイッチ、および移動を作成して下さい。
- アプリケーションは VSM をインストールすることホストがクラスタの一部である場合認識

しません。これは仮想ディスクが局部記憶装置にインストールされていることを、ないクラスタストレージ意味します。

- アプリケーションはシステム ネットワーク セットでネットワーク アップリンクを作成します。各ネットワークセグメントは設定されるシステム ネットワークがなければなりません。これは主要な不具合、そう気づいていますそれにです。

インストーラ アプリケーションログ Location

インストーラ applicaton は未開発地域環境ではたらくためにただ意味されます。以前に確立された設定でアプリケーションを使用するように試みないで下さい。インストーラ エラーが C に、ナビゲート するかどうか確認するため: > Users > <username> > AppData > ローカル > 臨時雇用者は > 2 > Nexus1000vInstaller_xxxxxxx.txt、およびログをチェックします。

インストーラ アプリケーションは Mgmt NIC を移行します

インストーラ アプリケーションのデフォルト (ただ) 動作は mgmt インターフェイスが接続される物理的な NIC を表示する、使用することであり。インストーラ アプリケーションを実行するとき、1 NIC だけを選択- mgmt NIC できます。

インストーラ アプリケーション:

1. MS 論理的なスイッチを作成します
2. 論理的なスイッチに VSM がある 2 つのホストを追加します
3. 論理的なスイッチの仮想 な nNIC に mgmt NIC を移行します
4. その論理的なスイッチに VSM ネットワーク接続を追加します

このイメージはホストの 1 つに今割り当てられる MS 論理的なスイッチがどのようにある mgmt トラフィックを運ぶバーチャル NIC が説明し:

作成される論理的なスイッチを表示するときアップリンクがアップリンク チーム無しで定義されることがわかります。これはこのスイッチに別の NIC が団結された NIC を追加できないので問題です。スイッチが作成されればチームの種類を変更することができません。また、インストーラ アプリケーションは団結されたインターフェイスを追加することを可能にしません。

スイッチを団結されるに変更するために、それを取除き、団結セットと追加して下さい。これは可能性のある、退屈でありではない。冗長性がほしいと思ひましたり、従って団結されなければ、そこに潜在的な問題です。

Mgmt および VSM のための論理的なスイッチはすべてのスイッチで作成されません

これは VSM がこれら二つのホストだけに結ばれるのもう一つの問題です。このように、ライブ移行および Cisco Home Agent (HA) は 2 つのホストに制限されます。MS 論理的なスイッチに他の超V ホストを移行する作成されるが、インストーラ アプリケーションによって自動的に完了しませんオプションがあります。

インストーラ アプリケーションはクラスタ ベースのストレージを利用しません

VSM Virtual Machine (VM) 設定が作成されるとき、**アベイラビリティ**に下位の値があります。MS は**最高の値アベイラビリティ**の VM だけがクラスタ ベースのストレージに含まれているようにします。これは超V ホストの局部記憶装置に VSM 仮想ディスク (VD) および VM 情報を置きます。再度、これは VSM VM のためのライブ移行および HA を制限します。

注: 残念ながら、手順は作成されれば VSM の設定アベイラビリティの変更するために検出されませんでした。

インストーラ アプリケーションが作成する VSM 設定においての問題

インストーラ アプリケーションは VSM の基本設定を非常に作成し、システム センター仮想マシン マネージャ (SCVMM) にその設定のいくつかをインポートします。

アプリケーションは N1KV 側からのこれらの操作を行います:

- デフォルト ロジカルネットワークを作成します
- デフォルトネットワーク セグメント プールを作成します
- デフォルト アップリンク ネットワークを作成します
- チャンネルグループ MAC ピンで止めることでデフォルト eth ポート プロファイルを作成します
- 非制約事項のためのデフォルト veth ポート プロファイルを作成します
- デフォルト IP プール テンプレートを作成します
- SCVMM の N1KV 論理的なスイッチを作成します

アプリケーションはだけでなく、VSM のこれらの設定を作成しますが、論理的なスイッチを作成するとき SCVMM にこの情報を読み込みます。

アプリケーションは設定側面をよくしますが、アップリンク ネットワークに問題があります。これはネットワーク アップリンクがどのように作成されるかです:

```
nsm network uplinkn1kv_uplink_network_1_VSM-install11
import port-profile n1kv_uplink_network_policy_VSM-install11
allow network segment pool n1kv_network_segment_pool_VSM-install11
native network segment n1kv_vmaccess_1_VSM-install11
system network uplink
publish network uplink
```

システム ネットワーク アップリンクがあります、問題を引き起こしている。設定されるシステム ネットワーク アップリンクのアップリンクがある場合アップリンクは同様にシステムである必要があること使用するすべてのネットワークセグメントおよびポート プロファイル。これはそのアップリンクを使用できる 32 のネットワークセグメントに制限されることを意味します。

VLAN 152 のための新しいネットワークセグメントおよび IP プール テンプレートを構築する場合示そう何が起るかのこれが問題であるがで、例をことは明らか:

```
VSM-install11(config)# nsm ip pool template vlan-152
VSM-install11(config-ip-pool-template)# ip address 192.168.152.2 192.168.152.253
VSM-install11(config-ip-pool-template)# network 192.168.152.0 255.255.255.0
VSM-install11(config-ip-pool-template)# default-router 192.168.152.1
```

```
VSM-install11(config)# nsm network segment segment-vlan-152
VSM-install11(config-net-seg)# switchport mode access
```

```
VSM-install11(config-net-seg)# switchport access vlan 152
VSM-install11(config-net-seg)# ip pool import template vlan-152
VSM-install11(config-net-seg)# member-of network segment pool nlkv_network_
segment_pool_VSM-install11
VSM-install11(config-net-seg)# publish network segment
VSM-install11(config-net-seg)#
```

SCVMM N1KV 拡張をリフレッシュし、作成したネットワークセグメントのための VM ネットワークを追加して下さい。新しい VM ネットワークに VM を割り当てるように試みるときこれらのエラーを得ます:

Error (12700)

```
Failed while applying switch port settings 'Ethernet Switch Port Profile Settings'
on switch 'nlkv_VSM-install11': A device attached to the system is not functioning.
(0x8007001F). Unknown error (0x8005)
```

Error (26908)

```
Virtual switch on host to which the virtual network adapter is to be connected
(nlkv_VSM-install11) is a non compliant logical switch instance
```

これらのエラーはネットワーク アップリンクがシステム ネットワークを運び、ネットワークセグメントがあるので引き起こされます。2つのオプションがあります: 新しいネットワーク アップリンクをシステム ネットワークなしで作成するか、または新しいネットワークセグメントにシステム ネットワークを追加して下さい。

SCVMM は VSM に接続できません

VSM と SCVMM 間の接続は ESXi とのより超V と異なっています。超V ソリューションでは、SCVMM は (Nexus 1000V) API に話します。これは接続が SCVMM ホストから確立および維持されることを意味します。提示 **svs connection** コマンドは VSM で使用されるとき、何も示しません; このソリューションに SVS 接続がありません。

SCVMM はまた 30 分毎に VSM を一度ポーリングします。これは VSM からの変更が SCVMM ですぐに現われるのを見たいと思う場合リフレッシュを強制する必要があることを意味します。

プロバイダがインストールされていることを確認して下さい

超V のためのプロバイダは ESXi の N1KV のためのプラグインに類似したです。違いは各 VSM のためのユニークなプロバイダがないことです。ただプロバイダ インストールを一度実行する必要があります。これは理解するため VSM に話す方法を必要である情報の SCVMM を読み込みます。

プロバイダは各 VSM に特定ではないです。プロバイダは Windows レジストリで登録されています。レジストリの VSEM を探すことができますまたはこの位置にナビゲートして下さい:

プロバイダを削除できない位置にならレジストリのエントリを削除し、SCVMM サービスを再開できます。

レジストリエントリのモジュールのための位置に注意して下さい。プロバイダ ダイナミック ロード可能 ライブラリ (DLL) はプロバイダをインストールするために使用する powershell スクリプトと共に **c:\Program Files\Cisco\Nexus1000V** に、インストールする必要があります。DLL があることを確認して下さい。

注: DLL が破損している場合、それを取除き、再インストールして下さい。

コントロールパネルが付いているプロバイダをアンインストールして下さい/再インストールして下さい

プロバイダのアンインストールは超V サーバ 2012 コントロール パネルからプログラムによってアンインストールします完了します。プロバイダを再インストールするために、プロバイダ インストーラをダブルクリックして下さい。

拡張 準拠性をチェックして下さい

プロバイダ 拡張が SCVMM でアクティブ、対応であることを確認して下さい。設定 > 構成プロバイダーへのナビゲート。シスコシステムズ Nexus 1000V 拡張がアクティブであることを確認して下さい。これは拡張が SCVMM によって使用されることを意味します。

VSM と SCVMM 間の接続を確認して下さい

SCVMM は VSM に話します、従って SCVMM ホストから解決して下さい。

次のことを確認してください。

- SCVMM ホストから VSM を ping できます。
- N1KV Application Programming Interface (API; アプリケーション プログラミング インターフェイス) に Webブラウザによって参照できます。

VSM を ping できない場合 Windows ファイアウォールを確認し、ネットワーク接続問題があるように確認して下さい。VSM および SCVMM が同じ サブネットにである必要がある要件がありません。

API を確認し、Internet Explorer (IE) を使用し、このストリングと VSM 他 API に参照するため : <http://<vsm-ip>/api/n1kv>.

この出力が表示される必要があります:

API に達することができない場合それを確認して下さい:

- SCVMM ホストで設定されるインターネット プロキシがありません。SCVMM は IE で定義される場合プロキシを受継ぎます。プロキシが定義されることを確認するために IE のインターネット設定をチェックして下さい。VSM のための例外を追加するために必要となるかもしれません。
- Webサーバおよび API は VSM でアクセス可能です。HTTPサーバが VSM で有効になること、そしてポート 80 トラフィックをブロックするなどのファイアウォールでも有効になったら確認して下さい。

注: 現在 VSM は HTTP または HTTPS のための API 呼び出しを処理しますが、SCVMM は HTTP だけに制限されます。

仮想イーサネットモジュール (VEM) 問題

超V 使用 L3 制御だけの N1KV。 L2 制御とのと超V 制御する方法がありません。 超V の設定 L3 制御は VMware の同じような設定よりもっと簡単です。 VEM に NIC を捧げる必要がありません; VSM は超V サーバ 2012 管理 NIC に直接話します。 L3 制御のための特派員 **veth ポート プロファイル**を必要としないことを管理 NIC が VEM モジュールに接続する必要があるつまり意味しますこと要件がありません。

VEM のインストールはまたもっと簡単です。 SCVMM の VMware アップデート マネージャ (VUM) コンポーネントがありません。 拡張コンポーネントをインストールする機能は SCVMM に直接構築されます。 VEM が超V ホストでインストールされていない場合、 SCVMM はターゲット超V ホストで VEM を自動的にコピーし、インストールします。 手動で VEM をインストールしたいと思う場合それはホストの VEM インストーラ アプリケーションの簡単なダブルクリックです。 uninstall またコントロール パネルから簡単なプログラム取除きますです。

超V ホストは N1KV にインストールしません

出会うかもしれないよくある エラーは超V ホストが SCVMM による N1KV に追加されないことです。 この問題を解決するために作る必要がある複数の確認があります。

VEM インストールが失敗するとき SCVMM で見るかもしれない典型的なエラーはここにあります:

超V ホストの古いネットワーク チームがあるように確認して下さい

超V ホストの別の N1KV から古いチームがあるかもしれません。 その場合 N1KV にホストを追加する前に、古いチームを削除して下さい。 超V ホストで、 Powershell を実行し、得 **NetSwitchTeam** コマンドを入力して下さい。 古いチームが現われる場合、 **取除NetSwitchTeam** コマンドでそれを取除いて下さい。

```
PS C:\> Get-NetSwitchTeam
```

```
Name: HPV7b9901d8-70b8-4063-b60e-bcd6679384f7 <<<< Logical Switch name is ?HPV?
```

```
Members: Ethernet
```

```
PS C:\> Remove-NetSwitchTeam -Name HPV7b9901d8-70b8-4063-b60e-bcd6679384f7
```

NIC の最大伝送ユニット (MTU) および N1KV は一致する

超V の MTU設定は NIC 設定を通した NIC ごとに行われます。 チームを作成するとき、 MS はチームのすべての NIC の MTU設定が同一であることを統治を委任します。

2つの方法が MTU設定を確認するために行い、あります。 第1はネットワークアダプタ設定を通してあります。 第2方法は Powershell を使用することです。 MTU設定を同時に得、行うために Powershell の使用を説明する例はここにあります:

```
PS C:\Program Files (x86)\cisco\Nexus1000V>
```

```
Get-NetAdapterAdvancedProperty -RegistryKeyword
```

```
*jumbo* -Name ? <adapter name>" | Set-NetAdapterAdvancedProperty
```

-RegistryValue <mtu value>

新しい設定は古く/古い N1KV 設定が原因で機能しません

超V ホストに古い N1KV 設定があるそれが新しい設定に追加されないようにしない問題に出会うかもしれません。通常 SCVMM が超V マネージャから古い N1KV を削除するとき、それは設定をクリーンアップします。ただし、超V ホスト レジストリから古い N1KV 設定をチェックし、削除する必要があるケースがあるかもしれません。

Regedit コマンドを入力し、この位置で N1KV 設定を削除して下さい:

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM > CurrentControlSet > Services > VMSMP >
Parameters >SwitchList
```

レジストリエントリを削除した後、超V マネージャによってクリーンアップし、リブートして下さい。

必須ドライバは検出されなかったエラーではないです

N1KV に超V ホストを追加するように試みるとき必須ドライバが MSI が検出されないエラーを受け取るかもしれません。ジョブ ウィンドウからのエラーのサンプルはここにあります:

これは通常 N1KV VEM コードが SCVMM サーバにないことを意味します。SCVMM サーバは超V ホストでインストールされている拡張を確認する必要があります。VEM コードが超V ホストで既にインストールされていても、N1KV VEM インストーラは SCVMM サーバのディレクトリにコピーする必要があります。

N1KV VEM インストーラが SCVMM サーバの C:\ProgramData\Switch 拡張 ドライバにコピーされることを確認して下さい。ファイルがディレクトリにそれによつてがないし、N1KV に追加すれば超V ホストをコピーし。

VEM モジュールは VSM で現われません

この場合、すべては SCVMM ではたらくようですがモジュールは VSM で決して現われません。それは設定がとても簡単であるのでこれが超V と起こることまれです。それが起こるとき、試みるべき少数の簡単な事柄があります。

超V ホストの N1KV プロセスを再起動して下さい

超V ホストの N1KV プロセスを再起動するために問題を示すタスク マネージャをサービス利用して下さい。

タスク マネージャの N1KV サービスのスクリーン ショットはここにあります-それを右クリックし、『Restart』を選択して下さい:

VEM チームは正しく作成されません

SCVMM の論理的なスイッチを作成するとき、チームがチームを選択できます。N1KV を使うと、1 NIC だけ接続してもらってもチームを常に選択して下さい。

論理的なスイッチのチーム設定をどこで行うか説明するスクリーン ショットはここにあります:

すべての VETH ポートはホスト再度ブートするの後にあります

超V この点で非常に可能です; VM は電源が入ること、そして管理は再度ブートするを発行したことがわかれば、状態 VM およびリブートの休止することを。システムが再びオンラインになるとき、VM に背部オンラインをできるだけ早く持って来るように試みます。これは再度ブートするの前にホストを離れてライブ移行するすべての VM ことを仮定します。

超V VEM プロセスが実際に開始する前に VM に背部オンラインに持って来る問題があります。回避策は Autostart 遅延を用いる VM を設定 することです。エンジニアリングは VEM および VSM が超V の前に通信するように第 32 遅延を試みる/パワーオンすべて VM の再開するために使用されることを推奨します。

対応スイッチ エラーを検出することが不可能

N1KV に VM を、またはライブ移行する 1 ホストからの別のものに VM 作成するか、または移動するように試みるときこのエラーを受け取るかもしれません:

これは警告メッセージ多くよりおよびエラーです。それはジョブ画面のエラーとして現われるのに、何かがひどく壊れていることを示しません。問題は SCVMM がおよび VEM それ自身間の対応状態を、VSM 保存することを試みることです。どういうわけか、SCVMM は時折状態が同期化からある考え、のために N1KV をである不適合確認しているがことを判別しますと。個々のホストの準拠性はファブリックの下で > 論理的な switches <your N1KV 論理的な switch> 監視されます。

画面の上でリボンの Hosts ボタンをクリックして下さい:

ホストが不適合である場合、remediate にホストを試みて下さい。ホストを準拠性からある選択し、画面の上で Remediate ボタンをクリックして下さい。これはそれ自身、VSM および VEM モジュール間のデータを同期するために SCVMM を引き起こします。数分後に、対応へのステータスの変化、およびエラーを見ません。

注: 準拠性状態は対応に常にすぐにアップデートしません。それがはたらかない場合分か 2 つを待ち、もう一度試して下さい。

他の問題および役に立つコマンド

このセクションは超V の N1KV のための複数の雑多な問題および役に立つコマンドを説明します。

VSM は超V で入り込むことができません

入り込まれた超V ホストの VSM 動作する現在できません。ESXi とは違って、どういうわけか VSM は仮想 な超V ホストで動作できません。エンジニアリングは問題に気づいていますが、今低優先順位、そう気づいていますその制約事項にです。ただし 1 つの可能性のある回避策があるように、ESXi 入り込まれたホストの VSM を実行できます。

仮想マシン キューイング (VMQ)

VMQ は VMware 仮想マシン デバイス キュー (VMDQ) とほとんど同一です。VMQ は物理的な NIC が VMQ をサポートすることを必要とします。NIC はネットワークトラフィックが hypervisor から VM に直接フローするようにするシステムの各 VM のためのネットワーク キューを作成します。これは VM のためのネットワークパフォーマンスを改善します。

注: VMQ を使用するために、システムの物理的な NIC は VMQ/VMDQ をサポートする必要があります。Cisco 現在の VIC アダプタは VMQ/VMDQ をサポートしません。

VMQ をチェックするのに使用される Powershell コマンド

超V ホストの Powershell によって VMQ 情報があるように確認するために使用される 2 つの役に立つコマンドがあります:

- 得て NetAdapterVmq 下さい
- 得て NetAdapterVmqQueue 下さい

Vemcmd コマンドの使用 VMQ をチェックするため

これはキューが割り当てられた VETHs についての情報を表示するために使用されるプライマリコマンドです:

```
>vemcmd show vmq allocation
  LTL   VSM Port   Phy LTL   Queue id   Team queue id
   49    Veth13     17      1         49
           18      2
   50    Veth14     17      2         50
           18      3
   51    Veth16     19      1         51
           20      1
```

Vemcmd の使用は VMQ リソースを表示するために

このコマンドは VMQ 有効にされた物理的な NIC についての情報を表示するものです:

```
>vemcmd show vmq resources
  LTL   VSM Port   Max queues   Free queues
   17    Eth3/1     16           10
   18    Eth3/2     16           10
   19    Eth3/3     8            7
```

PowerShell 有用なコマンド

VSM にデータを引っ張るか、または押す Powershell 複数のコマンドがあります。これは N1KV に VM のインストールおよび管弦楽法のスクリプトを書くことを可能にします。それはまた SCVMM および N1KV オブジェクト間の関係を示す詳細な情報を引っ張ることを可能にします。

SCVMM からの Powershell を使用して下さい

SCVMM プラグインがある Powershell を使用するようにして下さい。これを達成する最も簡単な方法は SCVMM コンソールから Powershell を起動させることです:

得SCPortClassification コマンド

このコマンドはリンクされる N1KV ポート プロファイルと SCVMM ポート分類間のリンクを表示するために使用されます:

```
PS C:\Users\Administrator.HYPERV> Get-SCPortClassification
```

```
Name                : NexusNoRestrict-2
Description         :
ServerConnection   : Microsoft.SystemCenter.VirtualMachineManager.
                    Remoting.ServerConnection
ID                 : 9f8819c1-8b53-42bd-a6fd-0173804e3194
IsViewOnly         : False
ObjectType          : PortClassification
MarkedForDeletion  : False
IsFullyCached      : True
```

得SCVirtualNetworkAdapterExtensionPortProfile コマンド

このコマンドはアップリンク ポート プロファイルについての情報を表示するために使用されます:

```
PS C:\Users\Administrator.HYPERV> Get-SCVirtualNetworkAdapterExtensionPortProfile
```

```
Name                : NoRest-unicast-norest
ExternalId         : 308ad66b-7c42-4067-90af-13f7a6e59afe
NetworkEntityAccessType : ExternallyManaged
VirtualSwitchExtension : nlkv-test
Tags               : {}
AllowedVNicType    : Both
MaxNumberOfPorts   : 32
MaxNumberOfPortsPerHost : 216
ProfileData        : 0
ServerConnection   : Microsoft.SystemCenter.VirtualMachineManager.
                    Remoting.ServerConnection
ID                 : 8934a01c-0cb7-4ee2-ae9d-21ff5b26568f
IsViewOnly         : False
ObjectType          : VirtualSwitchExtensionVirtualPortProfile
MarkedForDeletion  : False
IsFullyCached      : True
```

得SCConfigurationProvider コマンド

このコマンドは SCVMM サーバでロードされるプロバイダ 拡張についての情報を表示するために使用されます:

```
PS C:\Users\Administrator.HYPERV> Get-SCConfigurationProvider
```

```
Name                : Cisco Systems Nexus 1000V
Type                : VirtualSwitchExtensionManager
Description         : Provider for Cisco Systems Nexus 1000V
                    Virtual Switch Extension Manager
LatestVersion      : 1.0
PublishDate        :
Publisher          : Cisco Systems, Inc.
Manufacturer       : Cisco Systems, Inc.
Model              : {Nexus 1000V}
Error              :
ServerConnection   : Microsoft.SystemCenter.VirtualMachineManager.
                    Remoting.ServerConnection
ID                 : 22a8f431-b5fe-4ee8-a0f5-9b5a99f723f2
IsViewOnly         : False
```

ObjectType : ConfigurationProvider
MarkedForDeletion : False
IsFullyCached : True

Vemcmd および Vemlog 場所

VEM コマンドは C で利用できます: > Program Files (x86) > Cisco > Nexus1000V。

レジストリによって物理的なアダプタ コンポーネントを確認して下さい

レジストリの N1KV への物理的な adapter 接続を確認するために、このレジストリ 位置にアクセスして下さい:

- レジストリ ハイブ: HKEY_LOCAL_MACHINE > システム > CurrentControlSet
- レジストリ キー サービス > Nexus1000V > パラメータ > HostPhyAdapters

一時テンプレートによる N1KV オブジェクトを削除できません

SCVMM Service テンプレート アプリケーションによってこの問題設定されたテンプレートおよび構築された VM、および自身の VM を作成するために許可されたセルフサービス ユーザに出会うかもしれません。この一時テンプレートは SCVMM によって視認できる オブジェクトではありません。このコマンドで一時テンプレートを削除するために SCVMM Powershell を使用して下さい:

```
Get-SCVMTemplate | where {$_.Name -like "Temporary*"} | Remove-SCVMTemplate
```

N1KV レシーブ論理的なスイッチ 準拠性 エラーに割り当てられる VM

時々準拠性 エラーは SCVMM が操作する方法のちょうど機能です。N1KV は SCVMM で完全に対応するかもしれませんがまだ準拠性 エラーを受け取ります。

また VM のネットワーク設定を選択するか、または修正することができないこのメッセージを受け取るかもしれません:

これは MS クラスターのノードの 1 つに問題があると発生します。SCVMM は問題のノードを削除するか、または固定するまでノードすべてが準拠性でない検出し、ことを変更を行なうことを可能にしません。これは SCVMM の予期された動作です。

どのノードが問題があるか判別するために、SCVMM またはクラスター フェールオーバー マネージャを使用し、問題ノードを固定して下さい。ノードを固定できない場合クラスターから取除くか、または休止して下さいそれ。それが完了した、N1KV に VM を追加し、修正する機能があります。